

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 1 日(2022.2.1)

【公開番号】特開 2021-61715(P2021-61715A)

【公開日】令和 3 年 4 月 15 日(2021.4.15)

【年通号数】公開・登録公報 2021-018

【出願番号】特願 2019-185880(P2019-185880)

【国際特許分類】

H 0 2 G 3/04(2006.01)

H 0 2 G 3/30(2006.01)

H 0 1 B 7/00(2006.01)

F 1 6 B 2/08(2006.01)

10

【F I】

H 0 2 G 3/04

H 0 2 G 3/30

H 0 1 B 7/00 3 0 1

F 1 6 B 2/08 U

【手続補正書】

20

【提出日】令和 4 年 1 月 24 日(2022.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

図 3 に示すようにロック部 2 3 は、バンド部 2 1 が挿入可能な挿入口 2 4 を有している。挿入口 2 4 の内面には、係止爪（図示略）が設けられている。バンド部 2 1 の先端部の外周面には、バンド部 2 1 の幅方向に沿って延びる複数の係止溝（図示略）がバンド部 2 1 の長さ方向において所定の間隔を空けて形成されている。バンドクリップ 1 2 では、バンド部 2 1 に形成された複数の係止溝のうちの 1 つにロック部 2 3 の係止爪に係合させることで、ロック部 2 3 に対してバンド部 2 1 をロックする。バンドクリップ 1 2 では、ロック部 2 3 に対するバンド部 2 1 の挿入度合いに応じて、バンド部 2 1 による電線 1 1 の締め付けの度合いを調整することができる。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 6 5】

・上記実施形態では特に言及していないが、電線 1 1 に対して複数のバンドクリップ 1 2 が取り付けられる場合に、クリップ部 2 2 の向きは各バンドクリップ 1 2 によって任意の向きとすることができる。すなわち、クリップ部 2 2 の向きを各バンドクリップ 1 2 で同じ向きとしてもよいし、異なってもよい。